

~~~~~2014年6月 地震・火山グループ研究会~~~~~

日時：2014年6月27日（金）14：00～16：00

会場：京都大学防災研究所 大会議室（本館S棟5階 S-519D）

講師：五十嵐 晃 教授

（京都大学防災研究所 附属流域災害研究センター 都市耐水研究領域）

演題：橋梁用免震支承の課題－経年劣化問題を中心に

要旨：

構造物に対する地震作用の影響への対策として、免震支承とりわけゴム系の支承の利用が広く行われている。橋についてもゴム系支承は多数用いられているが、近年その経年劣化の問題が明らかとなりつつある。橋梁特有のゴム支承劣化の背景と、実験的調査、地震時性能への影響、将来的な課題と方向性等の論点について述べる。

講師：干場 充之 室長

（気象庁 気象研究所 地震津波研究部 第三研究室）

演題：データ同化・リアルタイム Shake-map・波動伝播シミュレーション

－次世代の緊急地震速報を目指した研究－

要旨：

緊急地震速報は地震減災に貢献する新しい情報として、2007年に本格的な運用を開始した。当初から、「広がっていく震源域への対応」や「地震が複数連発した場合」などの弱点が指摘されていたが、2011年東北地方太平洋沖地震では、その弱点が顕著となった。これらの弱点を克服すること、かつ、今以上の迅速性と精度向上を目指して、新しい考え方で地震動を即時予測する手法を考察してきた。

地震動が伝播していく様子を捉え、その情報から未来の状態を予測する。具体的には、データ同化、リアルタイム Shake-map、波動伝播のシミュレーション、を用いることで、震源やマグニチュードを決めることなく、地震動を即時的に予測する考え方である。

~~~~~

なお、7月は7月25日（金）の開催予定です。